

原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

日頃から核兵器のない平和で公正な世界の実現のために、取り組みを続けておられる全ての皆様方の活動に対し、心からの敬意を表します。

核兵器のない平和で安全な世界の実現は、人類共通の願いです。

本市におきましても、非核三原則の遵守と核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和維持への願いを込め、「非核平和都市宣言」を行っています。先人から受け継いだ緑豊かな自然と貴重な財産を次世代に引き継ぐことは、私たちの歴史的な使命です。その使命を実現するためにも、この世界大会が果たす役割は大きいと考えています。

コロナウィルス感染症対策として、オンラインでの大会という新しい試みになるとのことですが、核兵器廃絶の達成と世界の恒久平和を願い、原水爆禁止2020年世界大会のご成功を心よりご祈念申し上げます。

令和2年 7月 9日

新潟県魚沼市長 佐藤 雅一

原水爆禁止2020年世界大会が執り行われますことを心からお祝い申し上げます。今年は新型コロナウイルス感染症という世界的な脅威に直面する中、感染拡大防止の観点からオンライン開催にされ、多くの人々が集えない困難な状況におかれましても被爆者の方々とともに広く世界に向けて核兵器廃絶を訴える姿勢には、心から敬服いたしております。

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから、75年が過ぎました今も被爆された皆様方の傷跡は深く、その苦しみや悲しみは、私たちの心から消えることはありません。

このような過去を二度と繰り返さないためにも、私たちは、世界で唯一の被爆国として、核兵器の廃絶を求め、平和の尊さを、後世に伝えていく重要な責務があるものと考えております。

当市は、平和と豊かな自然が永続する社会を実現するため、平成 21 年 10 月に「非核平和都市宣言」を行うとともに、平成 28 年 7 月には核兵器を禁止し廃絶する条約の実現に向けた「ヒバクシャ国際署名」に署名するなど、各種の非核平和に向けた取り組みを推進してまいりました。

今後も、核兵器のない世界の実現に向けて、平和意識の醸成を推進していくことを改めて表明し、メッセージとさせていただきます。

令和2年7月27日

妙高市長 入村 明

原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、一言メッセージを申し上げます。

我が国は、世界で唯一の核被爆国であります。

原爆の恐ろしさ、悲惨さを身をもって体験した唯一の国として、世界中に核兵器の全面廃絶と軍備縮小を、先頭に立って訴えていかなければなりません。

戦後 75 年、戦争を知らない世代が増えつつある中、戦争の悲惨さを語り継ぐ責任と、世界の平和を尊ぶ心を次世代へしっかりと伝え続けていくことが大切です。

原水爆禁止 2020 年世界大会の盛会をお祈り致しますと共に、核兵器のない平和な世界の実現を心から願うものであります。

田上町長 佐野 恒雄